

とまこまいマラソン大会参加者を募集

【詳細】 実行委員会事務局（体育協会内） ☎37-7100

今大会に限り、陸上競技場が改修工事のため、全種目の距離が変更になっています。

と き 10月13日(日) 開会式9時～ ※小雨決行

と ころ 緑ヶ丘球場ほか ※受け付けは7時～

参加者募集 種目・対象・参加料 下記のとおり

9月6日(金)までに 白鳥アリーナ、苫小牧民報社、千歳民報社、総合体育館、川沿公園体育館、沼ノ端スケートセンターで配布の用紙で、またはインターネット・携帯からRUNTES (http://runnet.jp/) で

種目	対 象	参加料	種目	対 象	参加料
ペア 2.5km	家族、友人など 2人一組	1,500円	10km	男子中学生～29歳	3,000円
トリプル 2.5km	家族、友人など 3人一組	(小学生以下 1,000円)		男子30歳～49歳	
				男子50歳以上	
2.5km	小学生男女	1,500円	ハーフ	女子中学生以上	3,500円
	男子中学生以上 女子中学生以上				
4.4km	小学生男女	1,500円	ハーフ	男子中学生～29歳	3,500円
	男子中学生以上 女子中学生以上				

受付・給水などボランティアスタッフを募集しています。詳細は事務局まで

苫小牧市中小企業融資制度

【詳細】 市商業観光課 ☎32-6447 苫小牧中小企業相談所 ☎33-5454

(利率は平成25年3月8日現在)

資金名	融 資 条 件			
	資金使途	融資限度額	融資期間	据置期間
小規模企業 経営改善資金	運転資金	1企業 1,000万円	7年以内	1年以内
	設備資金	1企業 1,200万円	12年以内	
中 小 企 業 振 興 資 金	運転資金	1企業 3,000万円	7年以内	1年以内
	設備資金	1企業 4,000万円	12年以内	
店舗近代化 設備資金	設備資金	1企業 5,000万円 1組合 8,000万円 テナント 入店資金 2,000万円	15年以内	2年以内
中小企業機械 等購入資金	設備資金	1企業 2,000万円	10年以内	半年以内
中小企業環境 保全施設資金	設備資金 移転資金	1件 3,000万円	10年以内	1年以内
	低公害車 導入資金	1企業 2,000万円		

取扱金融機関 北洋銀行、北海道銀行、北陸銀行、苫小牧信用金庫、北央信用組合、室蘭信用金庫の苫小牧市内各支店

※運転資金・設備資金については、比較的利の低い小規模企業経営改善資金・中小企業振興資金があります。また、小規模企業経営改善資金については、北海道信用保証協会に支払う信用保証料を資金使途別に上限30万円まで補助する制度もありますので相談ください

市民文化芸術振興助成事業を 追加募集します

9月から平成26年3月までに行う文化芸術事業に助成金を交付します

募集期間 8月1日(木)～16日(金)

対象 市内に活動の本拠がある市民、団体など(主催者が企業の場合は、対象外) ※自主的な創作発表事業・鑑賞提供事業、講演会、研究会などの開催事業

助成額 対象経費の50%以内(50万円上限)



申請書 生涯学習課で配布 (HPからダウンロード可)
申し込み・詳細 生涯学習課 ☎(32)6756

健康自立度アンケート未返送者の訪問を行います

健康自立度アンケートで、返送のなかった方のお宅を民生委員が訪問し、聞き取り調査を実施します

対象者 65歳以上で平成23・24・25年度の健康自立度アンケートの回答をしていない方(要支援・要介護認定者を除く)

訪問期間 8月～10月
詳細 介護福祉課 ☎(32)6347

介護支援いきいきポイント登録研修会を開催します

介護支援いきいきポイント事業の制度やボランティア活動の際の留意点を説明

と き 9月11日(水) 13時30分～2時間程度

と ころ 市民活動センター

対象 市内に居住する介護保険第1号被保険者(65歳以上)で要介護・要支援認定を受けていない方(初めて受講する方)

定員 60人 申し込み順

持参するもの 介護保険被保険者証、印鑑
申し込み・詳細 前日までに電話で 福祉協議会 ☎(32)7111 市介護福祉課 ☎(32)6347

市長コラム

実践躬行

苫小牧市長 岩倉博文

「対話で育てるまちの防災力」

7月6日に市民活動センターで、まちづくりトーク「防災」あなたの家庭の備えは大丈夫?」を開催しました。震度5強の地震を想定し、地震発生直後の行動や避難方法など、家庭でもできる備えについて一緒に考えました。

海岸に面し東西に長い苫小牧は津波の被害を受けやすく、いかに素早く避難するかが重要です。また東日本大震災の教訓から、市民との対話によってお互いの防災イメージを共有し、その上で生きた計画を作っていくなければなりません。現在、市では海岸地域を中心に、地区別の津波避難計画を順次策定しています。地域の皆さんとひざを交えて意見を出し合い、図上訓練や現地確認などの作業を続けていますが、これからも職員が地域に赴き、一人ひとりの思いをまとめ上げた計画づくりに努めてまいります。

8月からは、市長就任以来大切にしている取り組みである、まちかどミーティングが始まります。私自身、地域へ何一つ直接対話することで、皆さんと心をつなげるこの機会を楽しみにしております。また、こうした場でのイメージ



や情報の共有が強固な防災力を生み出すと確信しております。行政と市民がスクラムを組み、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるため、多くの皆さんの声をお聞かせください。